ここでは、日付を取り出します。

(1) [Source.Name]を選択して、[変換]タブから図のように選択します。

え データ型: テキスト ▼ 1,52 値の置き 転 部 データ型の検出 ↓ フィル ▼ カウント ■ 名前の変更 ■ 列のピポ 任意の		換 • ⁵ 列のピボット解除 • 10 移動 • ボット ┃ リストに変換)列	▲ 列の 書 分割・式、 テキスト	<u> 可加マージ</u> <u> う 抽出 </u> 長さ 最初の文字 日常の文字
\times	× v fx = Table.TransformColumnTypes(展開されたテ			取役の文子 範囲
⊞,	A ^B _C Source.Name	^B c 商品コード	A ^B c 商品名	区切り記号の前のテキスト
1	2月1日データ.xlsx	001	チョコレートク	区切り記号の後のテキスト
2	2月1日データ.xlsx	:002	クリームガレ・	区切り記号の間のテキスト
3	2月1日データ.xlsx	003	お菓子の町	
4	2月1日データ.xlsx	004	小町ランド	
5	2月1日データ.xlsx	005	ロールケーキ	
6	2月2日データ.xlsx	001	チョコレートクッ	+
7	2月2日データ.xlsx	002	クリームガレット	
8	2月2日データ.xlsx	003	お菓子の町	
9	2月2日データ.xlsx	004	小町ランド	
10	2月2日データ.xlsx	005	ロールケーキ	

(2) 区切り記号に「データ」と入力して、[OK]をクリックします。

区切り記号の前のテキスト 抽出する内容の末尾を示す区切り記号を入力します。		
区切り記号 データ		
▷ 詳細設定オプション		

ここでは、「データ」という文字を区切り記号として使います。

(3) [Source.Name]をダブルクリックして、「月日」に変更します。

	^{AB} c 月日
1	2月1日
2	2月1日
3	2月1日
4	2月1日